

県は民泊条例制定に慎重だが、市の考えは

県条例で一定の規制をしてもらうことが望ましいと考える



廣中 清介
市民クラブ

田原市の観光立市を目指す取り組みについて

- 問** 民泊により宿泊の選択肢が増えれば、さらなる宿泊客獲得につながると考える。積極的に対応する必要があるのでは。
- 答** 宿泊事業者からは営業への影響を危惧する声もある。民泊と宿泊施設とのすみ分けをしっかりと検討しながら進める必要がある。
- 問** 農家に泊まって農業を体験するなど、民泊と体験型プログラムとのマッチングは、リピートにつながるのではないか。
- 答** 農業などの生活体験を通じて住民と交流を深めることで、リピート機会は確実に拡大すると考える。
- 問** 民泊のマイナス面を心配する声が多いと感じる。愛知県は条例制定による規制に慎重だが、市の考えは。
- 答** 市独自で規制できる特別用途地区適用による規制は市街化区域内に限定されるので、県条例で一定の規制をしてもらうことが望ましいと考える。

- 問** 民泊の問題などが危惧される場合には、速やかに県に対して条例制定などを要望していくのか。
- 答** そのような場合には、条例制定を要望していく。
- 問** ICカードやパスコードで利用できる電動アシスト付きコミュニティサイクルを設置する考えは。
- 答** 三河田原駅周辺でレンタサイクルの導入を予定している中で、その中で検討していく。
- 問** サイクルラックが設置されていない公共施設に、新たにラックを設置していく考えは。
- 答** まずはサイクリストのニーズ把握に取り組む。
- 問** 県道「渥美サイクリングロード」の整備を急ぐ必要があると考えるが、整備の見通しは。
- 答** 全区間が1日でも早くつながるよう、早期着手を愛知県に対し引き続き要望していく。

- 答** 医療の発達により、障害のあるお子さんが家庭で生活することは、今後も十分考えられる。障害のあるお子さんやその家族が、地域の中で安心して暮らせるための支援として、障害のあるお子さんの成長に合わせた
- 問** 障害者の日常生活用具購入費用に対する給付制度の耐用年数は、障害者の状況に合わせたものに変更すべきでは。

- 答** 障害者に対する支援を1日でも早く行うため、これまでに以上に事務処理の迅速化に努める。手帳の早期交付について、東三河の福祉事務所長会議などにおいて各市と情報共有を図り、県などへの要望も検討する。
- 問** 障害者が補装具購入費用の給付を受けるには、身体障害者手帳を持つことが必須である。退院後すぐに補装具が必要なこともあるので、身体障害者手帳の発行を早期に行うべきでは。

障害者福祉（障害児）について

福祉有償運送料金助成制度の利用基準を見直す考えは
助成券を利用する障害者の方々の意見を聞きながら、利用基準の検討を進める



太田 由紀夫
自民クラブ